

令和2年度
事業報告(案)

社会福祉法人白老宏友会
指定特定相談支援事業所「ゆから」

1 はじめに

令和2年度「ゆから」の相談支援利用者数は129名。法人関係利用者が116名、町他事業所利用者が10名、在宅者が3名の計画相談を実施してきた。新規として1名（行政機関：白老町）が新たに計画相談の契約を行い、サービス事業所の移動等により2名（行政機関：白老町2名）の契約が変更された。

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の関係で各種研究会議（東胆振圏域での相談事業所連絡会や町内相談支援部会議など）について自粛され文書や電話連絡・通信等により福祉資源の活用・統計確認・課題の抽出など情報交換を行ってきた。

計画相談策定にあたり、法人内では本人・保護者・事業所職員等との情報共有により計画相談を進めていった。法人外の利用者については訪問が難しい場面が多かったが関係機関と情報共有しサービス等利用計画の作成に当たっていた。福祉サービスの支援方法や目標、利用者保護者のご意向、支援者の意見等についてまとめ、障がい者自身が望む自立した社会生活を営むことができることを目的として、本人に合った適切なサービス利用ができるよう計画相談を実施してきた。

2 計画相談作成件数

<利用状況>

ゆから			
	初期計画(更新)	継続計画	合計
4月	3件	9件	12件
5月	4件	16件	20件
6月	3件	18件	21件
7月	10件	23件	35件
8月	7件	24件	31件
9月	3件	21件	24件
10月	4件	8件	12件
11月	9件	10件	19件
12月	3件	17件	20件
1月	4件	29件	33件
2月	13件	20件	33件
3月	6件	18件	24件
計	69	213	282

(新規・更新 : 法人内- 65件、法人外-4件)

(継続 計画 : 法人内-191件、法人外-22件)

※重複障がいあり

単位（人）

実人数	身体障がい	知的障がい	精神障がい
129	13	122	14

3 事業の実施

利用者の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者の立場に立って、提供される福祉サービス等が特定の種類または特定の福祉サービス事業等を行う者に不当に偏ることのないように行ってきた。

自ら提供する指定特定相談支援の評価を行い、必要により改善を図ってきた

4 スキルアップ及び地域圏域との情報交流

(1) 新型コロナウイルス感染状況について、胆振圏域障がい者総合支援センター等との連携により情報交流を行った。

(2) 例年実施されている東胆振圏域指定相談支援事業所連絡協議会並びに東胆振管内住居系事業所連絡会議及び白老町自立支援協議会相談支援部会について、今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の関係で実施については自粛され文書や電話連絡・通信等により福祉資源の活用・統計確認・課題の抽出など情報交換を行ってきた